

危機管理課 地域防災力向上に向けて 庄原市総合防災訓練



土のうを積み上げる水防工法訓練

10月30日、比和総合運動公園で「令和4年度庄原市総合防災訓練」を実施し、関係機関6団体、約1000人が参加しました。

この訓練は、災害発生時における対応能力の向上や、住民の防災意識の高揚を図ることなどを目的に、市と消防団、備北地区消防組合が隔年で実施しています。今回の訓練は「集中豪雨により、比和地域で多数被害が発生している」という想定で行われ、避難所設置訓練のほか、水防工法訓練、埋没家屋からの救助訓練など、計9種目を実施しました。

訓練終了後の講評で、備北地区消防組合庄原消防署の真丸行成署長は「関係機関の連携強化につながる有意義な訓練となった」と話しました。

参加機関
庄原市消防団、備北地区消防組合、比和女性防火クラブ、比和自治振興区、庄原警察署、庄原市

教育指導課 学校・家庭が一緒になって考える 庄原市教育フォーラム

10月22日、庄原市総合体育館で「情報化社会」をテーマに、3年ぶりとなる教育フォーラムを開催し、保護者、教職員を中心に約200人が参加しました。

当日は、市内中学校の代表者3人が司会を務め、各学校の児童生徒が発表を行いました。

まず、子どもの読書活動のリーダーを養成する「子供司書」養成講座の受講生を代表して、口和小学6年生3人が、本年度の講座での取り組み、読書への思いなどを発表しました。

続いて、市内の4つの中学校の代表者が「情報化社会を生きる」というテーマで意見発表を行いました。

正しい情報を選択し判断すること、自分の発信した情報に責任を持つこと、さまざまな情報を自分の夢や目標実現のために役立てることなど、情報とどのように向き合い行動していくべきか、各生徒が意見を述べました。

最後に、東北大学加齢医学研究所所長で、東北大学教授の川島隆太さんを講師に「脳を知り、脳を育み、脳を鍛える」と題して講演が行われました。

講演では、これまでの研究に



司会を務めた中学生

おける科学的根拠を基に、スマートフォンなどの情報機器が、子どもの学力や脳の成長に与える影響、読書をすることで子どもたちに必要な創造力を育てることができるといった話が話されました。今後どのように情報化社会と向き合い、子どもたちを育むかを考える、貴重な時間となりました。

参加者からは「子供司書養成講座についての発表では、本を読むことが心を育むことにつながっていることを実感できた」「中学生の意見発表は、提案性のある内容で、ぜひ同世代の子どもたちに聞かせたい内容だった」「講演を聞き、スマートフォンなどが及ぼす影響と、読書の大切さがよく分かった。スマートフォンやタブレットとの付き合い方を考え、読書の大切さを家族と話してみようと思う」などの感想が聞かれました。



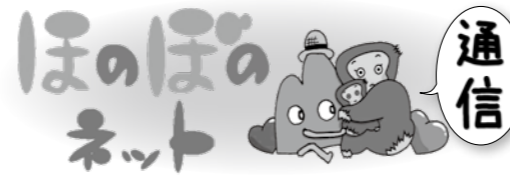
「子供司書」養成講座受講者の発表



中学生の発表



講演をする川島さん



庄原市子育て支援講演会へぜひご参加ください！

ほのぼのネット(庄原市子育て世代包括支援センター) ☎0824-73-1214



講師
日本相談支援専門協会 顧問 福岡 寿さん

プロフィール
厚生労働省などで、障害児者支援に関する各種委員を歴任。

著書に「気になる子の『できる!』を引き出すクラスづくり」「相談支援の実践力」。

子育てをしていく中で発達が気になったり、育てにくさを感じたりするときはありませんか。

保育所などへの巡回相談や相談支援に長年携わってきた福岡寿さんの話は実践に役立つヒントがいっぱいです。

「福祉会の吉本興業」とも呼ばれる福岡さんの、テンポよく楽しく、かつ実践に裏打ちされた話をぜひ聞きに来てください。

講演会は、「支援者対象」と「保護者対象」に分けて開催します。

※事前申し込みが必要です。

支援者対象
とき
1月13日(金) 19時~20時30分
ところ
市役所本庁舎、市役所東城支所、口和自治振興センター

保護者対象
とき
1月14日(土) 10時~11時30分
ところ
庄原市ふれあいセンター

内容
「子どもの成長のために親や地域ができること」
定員 50人
※託児が可能です。

申し込み締め切り
1月6日(金)まで

その他
新型コロナウイルスの状況により、オンラインでの開催となる可能性があります。

申し込み・問い合わせ
児童福祉課あんしん支援係
☎0824・73・0051

高齢者福祉課 市長が長寿者を表敬訪問 満100歳を迎える人に敬老祝金を贈呈

木山耕三市長が10月31日、長寿を祝福するため、市内の高齢者を訪問し、敬老祝い金とお祝い状を手渡ししました。

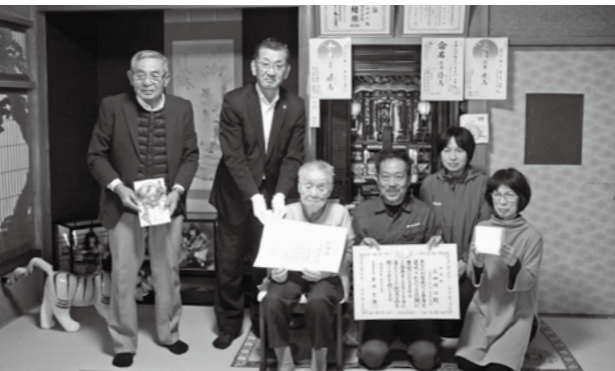
また、併せて内閣総理大臣からのお祝い状と記念品の銀杯を伝達しました。

敬老祝金贈呈対象者は、本年度に満100歳を迎える(大正11年4月1日~大正12年3月31日生まれ)52人(男性7人、女性45人)です。

今回は、新型コロナウイルス感染症防止のため、在宅の人で市長からの贈呈を希望した、石田時江さん、黒永タズエさんを訪問しました。

お祝いを受け取った石田さんは「長寿の秘訣は、野菜をよく食べ、小まめに健康診断を受けること」と、黒永さんは「スポーツ観戦が楽しみ。家族の洗濯物を毎日畳んでいる」と話しました。

本年度、市内で満100歳以上となる高齢者は128人(男性19人、女性109人)、市内最高齢者は女性が109歳、男性が105歳となっています。



石田時江さん(掛田町)(左から3人目)



黒永タズエさん(戸郷町)(左から2人目)